

議 事 概 要 書	
第1回 玉野市水道事業審議会	
開催日時	令和5年2月7日（火曜日）14時から15時まで
開催場所	水道庁舎 大会議室
出席委員	玉野市水道事業審議会委員9名、事務局6名
傍聴の可否	可（傍聴人数0人）
審議概要	<p>1. 開会 2. 議事 (1)令和3年度決算概要について (2)玉野市水道ビジョンの進捗状況について (3)玉野市水道事業の現状と課題について</p> <p><事務局説明> (1)令和3年度決算概要について 令和3年度の収益的収入総額は14億533万円であり、給水収益の増加等により、前年度より514万4,000円の増収、支出総額は、13億2,007万5,000円であり、資産減耗費等の増加により、前年度より4,870万円の増額となっている。 純利益は、8,525万5,000円であり、国際情勢の変化やエネルギー価格高騰等の影響を受け、減少している。 令和3年度の資本的収入の総額は2億2,249万1,000円で、企業債の借り入れの減少により、前年度より2億9,663万2,000円の減収、資本的支出の総額は8億4,256万円で、新型コロナウイルス感染症等の影響による工事の繰越に伴い、前年度より1億8,266万4,000円の増額となっている。 (2)玉野市水道ビジョンの進捗状況について 令和3年度決算分までの数値目標の進捗について、基幹管路耐震適合率や管路更新率について、県平均や類似団体平均は上回っている。 経常収支比率について、100%を超え、令和9年度の目標値も超えており、現在のところ健全経営である。 財政計画について、令和3年度決算までの実績としては、収益的収入は、策定時の見込みより若干減少、収益的支出については、増加傾向にあること、等を説明。 (3)玉野市水道事業の現状と課題について 近年の主な工事として、南回り線の廃止予定に伴い、新たに中央和田配水池を設け、中央線、北回り線の補強工事も実施する。</p>

今後、南回り線の切り替え作業を実施し、中央線から供用を開始する予定、その他、市内東方面での下水道工事に伴う水道管の布設替工事を実施していること、等を説明。

課題として、令和5年4月から南部水道企業団からの受水費が改定されることや、国際情勢の変化、エネルギー価格高騰等の影響により、維持管理費用が増加傾向であること、一方で、給水収益の大幅な増加は見込めないことなどの要因により、今後の事業運営について一層の検討を行う必要が生じていることを説明。

<委員>

受水費の改定について、総額で約1億2,000万の負担増の見込であることや、エネルギー価格が1割以上高騰とあるが、今後、水道料金への反映はどのように考えているか。

<事務局>

受水費や維持管理経費の増加により、収入で費用が賄えない状況になれば、やはり水道料金の改定も考える必要がある。

ただし、受水費の改定は、令和5年度からであり、現在のところ、十数億円の積立した資金残高があるため、どの程度維持できるか、ということも含め、今後、財政の推移を見ながら適切な時期や料金改定について、この審議会等でも案をお示ししながら検討しなければいけないと考える。

<市長>

南部水道企業団の受水費改定は、前回は、平成14年に47.5円から56円に、それから約20年ぶりの改定である。今回11円、率にすると19.6%、2割近い料金改定であるため、影響はかなり大きいと考えている。また、このところの物価高で、様々な経費が上がっており、タイミングとしてはあまり良くないが、やはり持続可能な安全安心な水道の供給を考えると、いつまでもこのままではいけない。

玉野市の水道料金は県内他市と比較すると安い、安全安心な水をお届けすることが大事な使命と考える。今後、皆様方のご意見をいただきながら考えていきたい。

<その他・委員からの感想等>

・安心安全に飲める水を常時供給していただけることが根本であるため、そのためにある程度の料金値上げは仕方ないと思うが、物価がとてもし上がっている時期であり、このタイミングでの値上げは難しいのではと考える。

・玉野市内に走っている水道管等を修理するための財源を枯渇させないためにも、また、国内での断水のニュース等にもあるように安心面を考えると、時期が来れば料金改定の理解は得られるのではと思う。

・水道事業というのは、まず質を保つためにはお金も必要ということも十分理解していただいた上で、長期のビジョンで市民へ見せていく、ここで急に来年度から急に値上げ、ではなく、かなり前から示していけば、理解も進むのでは。それも含め財政管理をしていくことが必要と考える。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国内や世界では、水道事業の民営化の例もあるが、市で運営していく中で、安全安心、安定的に供給していただける水道の維持は、とても大事なことだと思う。そのために、時期が来たときに、料金改定をしていくということは大変重要である。 ・最近、石川県で凍結による水道管の破裂で、長期間の断水が報じられたが、老朽化している水道管の更新等、この議論の中でも進めていけたらと思う。 ・水道事業も独立採算ということを考えると、一つの会社と全く同じであるため、どう収入と支出のバランスをとっていくか、が事業運営の目指すところであり、そこで不足する財源があるとすれば、最終的には料金改定という結論になると思うが、今、物価高等が続く中で、今このタイミングで料金改定をするのか、逆に、公共事業であるからこそ、今は耐えてタイミングを見ていくのか、等も今後は考えていくことが大事だと考える。 ・断水のニュースを見るたびに、実際に自分たちの場で起こったらどうかということを感じている。その上で、水道事業については独立採算であるため、インフラの整備、維持管理に多額の財源が必要であることは十分理解できるので、市民の皆様にも予測、可能性を十分に理解していただくのが重要ではないかと思う。 <p><議事終了></p> <p><副会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員から、気候変動による災害のリスクや国際情勢や物価高騰という話があり、事業において厳しい選択を迫られると思うが、幸いなことに非常に健全な経営をされているので、むしろ今なら様々な選択肢が取れるのでは、と考える。今後、新たなビジョンを考えていかれると思うが、委員の方から意見があったように、市民へ将来像を示し、丁寧な説明を行っていくと良いのではと思う。 <p>6. 閉会</p>
特 記 事 項	
事 務 局	玉野市建設部水道課（電話 0863-33-9666）